

新 総 しがのふるさと支え合いプロジェクト

<事業趣旨・目的>

中山間地域においては、農業や生産基盤の維持管理を基本としつつ、中山間地域の特色を活かした取組による新たな活性化を進めることが必要である。

このため、地域を牽引するリーダーを育成し、それをサポートする(支える)人々や多様な主体(企業・大学・NPO等)との連携強化を図る。また、地元では気付かない中山間ならではの地域資源を住民自らが再認識し、その活用方法を進めることで、より具体的な地域活性化の取り組みを支援する。

<事業内容>

①中山間ふるさと農村支え合い事業

I 企業、大学等と集落のマッチング・支援体制整備・活動補助・情報発信・資源活用マニュアル作成(委託)

4,600千円(国費3,000千円)

II 企業・大学・NPO等支援(定額補助) 100千円×6主体

②地元活性化リーダー育成事業(委託)

地域おこし協力隊員も含めたリーダー育成研修会の開催

6地区(1,600千円(国費))

③しがのふるさと活力づくり支援事業(定額補助)

I 計画策定支援(まるごと・中山間直払未実施集落対象)

150千円×6地区

II 実践集落支援

200千円×6地区

年度計画
(地区数)

	H30	H31	H32
I	6	6	
II	6	6	6
計	12	12	6

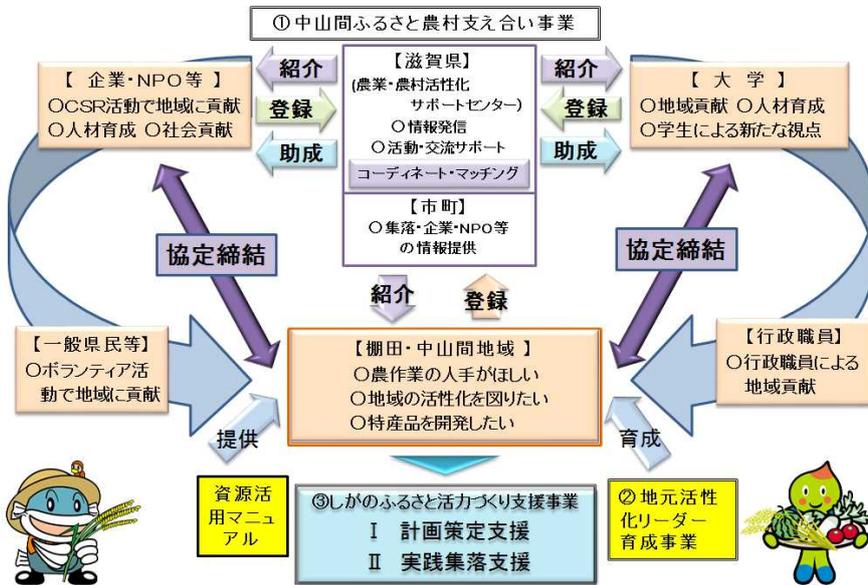
<事業実施による効果>

中山間地域を「守り・活かす」人材と組織の強化を図ることで、多面的機能の維持・保全と併せ、新たな取組等の実践により地域活性化が進む

<予定スケジュール>

集落の現状	H30	H31	H32
計画策定済み集落	計画の実践または多様な主体との連携		
計画策定未了集落	話し合いまたは計画策定	計画の実践または多様な主体との連携	
リーダー不在集落	話し合いおよびリーダー研修	計画の策定	計画の実践または多様な主体との連携

しがのふるさと支え合いプロジェクト



①中山間ふるさと農村支え合い事業

企業、大学等と集落のマッチング、支援体制整備他

集落と企業や大学等のニーズの把握、マッチングや資源活用マニュアルの作成等



マッチングの検討

企業、大学、NPO等支援

3年以上継続して集落と協働活動を行う企業や大学、NPO等に対し初動経費を補助(初年度のみ)



集落との協働活動への支援

②地元活性化リーダー育成事業

集落や地域を牽引するリーダーやサポーターの育成を図る研修会を開催



優良事例・先進地事例研修

③しがのふるさと活力づくり支援事業

計画策定支援

活性化に向けた話し合い、先進地視察、活性化計画の作成等に対し補助



活性化計画の作成(ワークショップ)

実践集落支援

多様な主体と連携または単独で活性化を図る取組に対し補助



伝統食を活かした料理の開発

